

# 労働時間や働き方のニーズに関する調査 (労働者用)

## < 調査協力者のお願い >

- この調査は、厚生労働省所管の調査研究機関である、独立行政法人 労働政策研究・研修機構（※）が、**厚生労働省**から要請を受けて実施するものです。調査結果は、今後の労働政策を立案するうえでの重要な資料として有効に活用して参りますので、ご多忙のところ誠に恐縮ですがご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。（※<http://www.jil.go.jp/>）
- 調査票は、民間企業信用調査機関が所有するデータベースから無作為に抽出した企業を通じ、同社で働く働き盛り世代の**正社員**を対象に配布しております。ご回答は統計的に処理され、個別の内容が特定されることはありませんので、ありのままをご記入ください。
- 設問へのご回答は、「該当すべてに○」の指定があるもの以外は1つだけ選択してください。選択肢の「その他」を選ばれた場合は、できるだけ具体的な内容を（ ）内にご記入ください。また、□□には数値をご記入ください。
- 特に断りのない限り、**2014年12月末日現在の状況**をご記入ください。ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**2015年2月6日（金）まで**に、郵便ポストにご投入ください。
- 調査票の発送、回収、入力力は、実査機関である株式会社日本統計センターに委託しております。ご不明点等をご照会内容に応じ、下記担当までお願い申し上げます（平日・9:00～17:30）。  
**【調査票の記入方法・締め切りなど実査について】**  
 株式会社日本統計センター  
 調査部 担当：門川(カドガワ)、渡邊 (TEL: 03-3861-5391)  
**【調査の趣旨・内容について】**  
 独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
 調査・解析部 担当：渡辺、荻野 (TEL: 03-5903-6286)



## I あなたご自身のことについてお伺いします

- F 1. あなたの性別は？  
 1. 男性 2. 女性
- F 2. 現在の年齢は？  
 満  歳
- F 3. 最終学歴は？  
 1. 中学校卒 4. 短大・高専卒  
 2. 高等学校卒 5. 四年制大学卒  
 3. 専修・各種学校卒 6. 大学院（修士課程修了）以上
- F 4. 配偶者の有無は？  
 1. いる 2. いない  
 付問、配偶者は仕事を持っていますか？  
 1. 有職 2. 無職
- F 5. あなたは世帯主ですか？  
 1. はい 2. いいえ

F 6. 育児・介護・介助の対象となる家族はいますか？

育児	1. いる ↳付問、育児の担い手は？	2. いない 1. あなた 2. あなた以外
介護・介助	1. いる ↳付問、介護・介助の担い手は？	2. いない 1. あなた 2. あなた以外

F 7. 現在の勤務先での勤続年数は？<sup>1</sup>

年 (端数は6ヶ月以上で切り上げて整数でお答えください)

F 8. 転職経験はありますか？

1. ある 2. ない

F 9. 昨年1年間における、あなたの税込み年収、世帯全体の税込み年収を教えてください。  
 ( [ ] から選んで番号を記入)

あなたの税込み年収  世帯全体の税込み年収

1. 300万円未満	7. 800～900万円未満
2. 300～400万円未満	8. 900～1,000万円未満
3. 400～500万円未満	9. 1,000～1,200万円未満
4. 500～600万円未満	10. 1,200～1,500万円未満
5. 600～700万円未満	11. 1,500～2,000万円未満
6. 700～800万円未満	12. 2,000万円以上

F 10. 現在、家計の負担となっている負債（住宅ローン等）はありますか？

1. ある 2. ない

F 11. 労働組合に加入していますか？

1. 加入している 2. 加入していない (勤務先には労働組合がないを含む)

## II あなたの仕事や勤務状況についてお伺いします

Q 1. あなたの仕事・職種は何ですか？ (○は1つ)

1. 総務・人事・経理等	7. 医療・教育関係の専門職
2. 一般事務・受付・秘書	8. 現場の管理・監督
3. 営業・販売	9. 製造・建設の作業
4. 接客サービス	10. 輸送・運搬
5. 調査分析・特許法務などの事務系専門職	11. 警備・清掃
6. 研究開発・設計・SEなどの技術系専門職	12. その他 ( )

<sup>1</sup> 出向中等の方は、企業グループ全体での勤続年数をご記入ください。

Q 2. 労働時間について教えてください。

(1) 就業規則等で定められている、あなたの1週間の所定労働時間はどれくらいですか？

週  時間  分

(2) 1週間の残業時間も含めた実際の労働時間はどれくらいですか？

週  時間  分

(3) 過去1年間に、1週間の残業時間も含めた実際の労働時間が、60時間を超えたことはありますか？

1. ある 2. ない

(4) 過去1年間に、1ヶ月の残業時間が次の基準を超えたことはありますか？（それぞれ1つに○）

4.5時間	1. ある	2. ない	8.0時間	1. ある	2. ない
6.0時間	1. ある	2. ない	10.0時間	1. ある	2. ない

(5) どのような勤務時間制度を適用されていますか？（○は1つ）

1. 通常の勤務時間制度（以下の2～7に該当しない場合）
2. フレックスタイム制度（一定の時間内で始業・就業時刻を自分で調整できる制度）
3. 変形労働時間制度（一定の期間だけ勤務時間が異なる制度）
4. 交代制（車ソフト、夜シフトなど）
5. 裁量労働制・みなし労働時間制（法律上の適用を受ける専門職、営業職、企画職等）
6. 短時間勤務制度
7. 時間管理なし（裁量労働制・みなし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）

付問、現在、在宅勤務制度を適用されていますか？

1. されている 2. されていない

(6) 残業をする頻度はどれくらいですか？

1. ほぼ毎日する 2. 週に3～4日程度 3. 週に1～2日程度 4. ほとんどしない

付問① 所定労働時間を超えて働くのはなぜですか？（該当すべてに○）

1. 人手不足だから（1人当たり業務量が多いから）
2. 業務の繁閑が激しいから、突発的な業務が生じやすいから
3. 仕事の性格や顧客の都合上、所定外でないといけない仕事があるから
4. 急な方針変更や曖昧な指示、プロセスの多い決裁手続き、長時間におよぶ会議など、仕事の進め方にムダがあるから
5. 組織間や従業員間で業務配分にムラがあるから
6. 求められている成果が明確でないから
7. 自分が納得できるまで仕上げたいから
8. 仕事が面白いから
9. 納期やノルマが厳しいから
10. 営業時間が長いから
11. 残業手当や休日手当を稼ごうから（基本給が低いから）
12. 残業が昇進・昇格など人事上で評価される
13. 成果・業績主義化や仕事の個別化等で、職場に助け合いの雰囲気がないから
14. 職場に帰りにくく、雰囲気があるから
15. 自分の能力や技術が足りないから
16. その他（）

付問②、あなたの残業代は、どのような形で支払われていますか？（○は1つ）

1. 実績に基づいて支払われている
2. 一定の時間数（予算の範囲内や36協定の限度時間の範囲内等）までは、実績に基づき支払われている
3. 一定の時間分は基本給や手当等に含まれているが、これを超えた時間数は、実績に基づき支払われている
4. 実績に係わらず、一定額が支払われている
5. まったく支払われていない

2 休憩時間、残業時間を除きます。変形制などの場合は、平均的な所定労働時間をお答えください。また、管理職の方は、一般従業員の所定労働時間をご記入ください。

3 時期によって繁閑がある場合は、平均的な時間をお答えください。

(7) あなたの仕事の進め方は、次のAとBとどちらに近いですか？

A：できるだけ所定労働時間内に終わらせようとする

⇨ B：できるだけ所定外労働時間を長くして賃金を稼ごうとする

A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	何とも言えない
1	2	3	4	5

(8) 時間や成果の考え方について、あなたの意見、上司の考え、職場の雰囲気は、次のAとBどちらに近いですか？（それぞれ1～5のうち1つに○）

A：残業を含めて可能な限り時間を費やし、最大の成果を目指すべきだ

⇨ B：限られた時間の中で効率良く、一定の成果を目指すべきだ

	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	分からない
あなたの意見	1	2	3	4	5
上司の考え	1	2	3	4	5
職場の雰囲気	1	2	3	4	5

A：正社員である以上、仕事以外の時間を犠牲にしてもできる限り会社に貢献すべきだ

⇨ B：正社員であっても、仕事以外の時間はしっかり確保し、一定の範囲で会社に貢献すべきだ

	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	分からない
あなたの意見	1	2	3	4	5
上司の考え	1	2	3	4	5
職場の雰囲気	1	2	3	4	5

Q 3. あなたの役職はどれですか？

1. 一般社員
2. 係長・主任クラス
3. 課長代理クラス
4. 課長クラス
5. 部長クラス
6. 役員クラス

付問、上記の「役職」で3～6を選択した場合に伺います。あなたが管理職相当に昇進した時期は、同時期に入社した年齢の近い人に比べてどうでしたか？

1. 早い
2. 普通
3. 遅い
4. 比較する対象がいらない

Q 4. あなたの仕事の特徴について、次のa～lはどの程度、当てはまりますか？（それぞれ1～4のうち1つに○）

	当てはまる	どちらかといえばはまる	どちらかといえは	どちらかといえは	当てはまらない
a. 仕事の手順を自分で決めることができる	1	2	3	4	4
b. 仕事の量を自分で決めることができる	1	2	3	4	4
c. 退社時間を自分で決めることができる	1	2	3	4	4
d. 仕事上の責任、権限が重い	1	2	3	4	4
e. 達成すべきノルマ、目標の水準が高い	1	2	3	4	4
f. 時間をかけた分だけ、成果が出る仕事である	1	2	3	4	4
g. 仕事の成果を目に見る形で測ることが難しい	1	2	3	4	4
h. 突発的な業務が生じることが頻繁にある	1	2	3	4	4
i. 他に連携してチームで行う仕事である	1	2	3	4	4
j. 仕事のメ切り納期にゆとりがない	1	2	3	4	4
k. 顧客からクレームや要望変更が頻繁にある	1	2	3	4	4
l. 仕事に必要な職業能力(知識・技能)が明確である	1	2	3	4	4

Q 5. あなたの職場の特徴として、次の a～j はどの程度、当てはまりますか？  
(それぞれ 1～4のうち 1つに○)

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえませんが当てはまらない	当てはまらない
a. 職場の人数に比べて仕事の量が多い	1	2	3	4
b. 職場に自分の仕事を代わりに行きたくない	1	2	3	4
c. 効率良く仕事を終わらせても他の仕事を回される	1	2	3	4
d. 特定のの人に仕事が偏っている	1	2	3	4
e. 上司や先輩が仕事のノウハウを教える風土がある	1	2	3	4
f. 同僚間で仕事のノウハウを教え合う風土がある	1	2	3	4
g. 上司と部下のコミュニケーションは円滑である	1	2	3	4
h. 同僚間のコミュニケーションは円滑である	1	2	3	4
i. 上司は、就労上の問題や仕事の希望を理解している	1	2	3	4
j. 同僚と、お互いの就労上の問題や仕事の希望を理解合っている	1	2	3	4

### Ⅲ 休暇の取得状況や生活志向についてお伺いします

Q 6. 昨年度※の 1 年間に於ける、年次有給休暇の付与・取得状況について教えてください。

※ 2013年中で、あなたの年次有給休暇が新しく付与された月からの1年間とお考えください。  
例えば、2013年4月1日～2014年3月末日や、2014年1月1日～12月末日など。

(1) 年度初めの時点で、権利として持っている年次有給休暇の日数は何日ですか？

(a) 2013年度に新規に付与された年次有給休暇の日数	日
(b) 2012年度から繰り越された年次有給休暇の日数	日

(2) 実際に取得して休んだ年次有給休暇日数は何日でしたか？

※1日も変わらなかった場合は、「0」とご記入ください。

2013年度の1年間に使った年次有給休暇の日数

日
---

付問①. 年次有給休暇を、どのような目的で使用しましたか？ (該当すべてに○)

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 旅行・レジャー、帰省  | 5. 定期的な通院やけがの療養 | 9. 子どもの学校行事、PTA等 |
| 2. 趣味          | 6. 家族の看病、介護     | 10. 免許・資格の更新     |
| 3. 心身の休息       | 7. 家事・育児        | 11. 自己啓発         |
| 4. 風邪等の疾病や予防接種 | 8. 銀行、役所等での手続き  | 12. その他          |

付問②. 年次有給休暇を取り残してしまうのは、なぜだと思いますか？ (該当すべてに○)

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| 1. 業務量が多く休んでいないから<br>(休むと後で自分がつまらなくなるから) | 8. 休んでも構わないから               |
| 2. 休み明け、代替してくれる人がいないから                   | 9. 配偶者や子ども等と休みの時期が合わないから    |
| 3. 職場の人に迷惑がかかるから                         | 10. 人事評価が悪くなる (出世できなくなる) から |
| 4. 全員に付与されている休日数や、<br>現在の年次有給休暇取得数で充分だから | 11. 休んだ分、成果・業績が出せなくなるから     |
| 5. 病気が急用のために残しておいて、<br>結局、取り切れなかったから     | 12. 上司が良い顔をしなから             |
| 6. 上司や同僚が取らないから                          | 13. レジャー等のお金がかかから           |
| 7. 罪悪感があるから                              | 14. 連続休暇が取れないから             |
|  | 15. 皆手当を稼がないから              |
|  | 16. その他 ( )                 |

Q 7. あなたの勤務先には、次のような特別休暇制度がありますか？ ある場合、2013年度の1年間に於ける取得日数も教えてください。(それぞれ1～3のうち1つに○)

	制度の有無	2013年度の取得日数
夏季特別休暇 (年次有給休暇以外)	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
年末年始休暇 (年休、法定祝日以外)	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
自分の病気のための特別休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
子どもや家族の病気の看護休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
家族等の介護休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
配偶者の出産のための特別休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
一定の勤続年数等で付与される リフレッシュのための特別休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
自己啓発、研修等のための特別休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
ボランティア活動のための特別休暇	1. あり 2. なし 3. 分らない	日
その他 ( )	1. あり 2. なし 3. 分らない	日

Q 8. 休暇をより多く取得できるようにするには、何が重要だと思いますか？ (該当すべてに○)

- |                                      |                                  |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 職場の人員数を増やす                        | 7. 年次有給休暇の計画的な付与制度を導入する          |
| 2. 従業員に占める正社員比率を引き上げる                | 8. 年次有給休暇の時間単位の取得制度を導入する         |
| 3. チームで仕事をさせる (代替要員を確保する)            | 9. 年次有給休暇の取得の下限数や目標数を設定する        |
| 4. 職場でお互いさまの雰囲気醸成する                  | 10. 労働時間の長さではなく成果で測る人事・処遇制度を導入する |
| 5. 上司等が年次取得を積極的に呼び掛ける                | 11. 連続休暇を取得できるようにする              |
| 6. 特別休暇を導入・拡充する<br>(病欠休暇、看護休暇、介護休暇等) | 12. その他 ( )                      |

Q 9. 育児・介護休業を取得したことはありますか？ ある場合、取得日数も教えてください。

育児休業	1. ある → (通算) 日	2. ない
介護休業	1. ある → (通算) 日	2. ない

Q 10. あなたの現在の仕事と余暇のバランスについて、当てはまるものはどれですか？ あなたが理想とするバランスとともに教えてください。(それぞれ1～5のうち1つに○)

	現在	理想
仕事に生きがい求め、それ以外の生活を多少犠牲にしても全力を傾ける	1	1
仕事に重点を置くが、それ以外の生活もそこそこ楽しむ	2	2
仕事もそれ以外の生活も、バランスを取りながら両方に力を入れる	3	3
仕事はできる範囲でやり、それ以外の生活に重点を置く	4	4
仕事以外の生活に生きがい求め、仕事を多少犠牲にしても 全力を傾ける	5	5

Q 11. あなたは今後、どのような職業生活を送りたいですか？ (○は1つ)

- |  |
|--|
| 1. いろいろな業務を経験し、この会社の経営層に加わりたい              |
| 2. ある程度昇進して、この会社の管理職として仕事をしていきたい           |
| 3. 昇進できるかどうかはともかく、定年までこの会社で働き続けたい          |
| 4. 自分の経験、専門知識、資格、特殊技能を活かしてこの会社で働きたい        |
| 5. 自分の経験、専門知識、資格、特殊技能を活かせるならば、現在の会社にこだわらない |
| 6. 独立開業して自分の力を試したい                         |
| 7. 良いところがあれば、すぐにも転職したい                     |
| 8. 特に希望はなく、成り行きに任せたい                       |
| 9. その他 ( )                                 |

Q 12. 現在の心身の状態について教えてください。最近、次のa~jのような経験は、どの程度ありましたか？（それぞれ1~4のうち1つに○）

	ほとんど毎日	しばしばあった	たまにあった	まったくなかった
a. 普段は何でもないことを煩わしいと感じたこと	1	2	3	4
b. 何をすすめるにも面倒と感じたこと	1	2	3	4
c. 物事に集中できなかつたこと	1	2	3	4
d. 普段より口数が少なくなつたこと	1	2	3	4
e. 家族等から励ましてもらっても気分が晴れなかつたこと	1	2	3	4
f. 憂鬱だと感じたこと	1	2	3	4
g. 一人ぼっちで寂しい、悲しいと感じたこと	1	2	3	4
h. 食欲が落ちたこと	1	2	3	4
i. 眠れなくなつたこと	1	2	3	4
j. 強い疲労感・ストレスを感じたこと	1	2	3	4

Q 13. あなたは現在の働き方で、健康に不安を感じることはありますか？

1. しばしば感じる 2. 時々感じる 3. ほとんど感じない 4. まったく感じない

付問①. アルコール類を飲みますか？

1. めったに飲まない  
2. 週に2~3日程度、飲む  
3. 毎日飲む

付問②. タバコを吸いますか？

1. 吸う 2. 吸わない

Q 14. あなたは次のa~gの時間を、もっと増やしたいですか、減らしたいですか？（それぞれ1~5のうち1つに○）

	もっと増やしたい	あと少し増やしたい	現状のまま	あと少し減らしたい	もっと減らしたい
a. 仕事の時間	1	2	3	4	5
b. 趣味やレジャーの時間	1	2	3	4	5
c. 家族と過ごす時間	1	2	3	4	5
d. 家事のための時間	1	2	3	4	5
e. 休息の時間	1	2	3	4	5
f. 自己啓発の時間	1	2	3	4	5
g. 地域や社会貢献の活動のための時間	1	2	3	4	5

Q 15. 次のa~hの項目について、どの程度満足していますか？（それぞれ1~5のうち1つに○）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	
a. 仕事のやりがい	1	2	3	4	5
b. 仕事の権限・裁量範囲	1	2	3	4	5
c. あなたの仕事ぶりに対する評価	1	2	3	4	5
d. 賃金水準	1	2	3	4	5
e. 労働時間の長さ	1	2	3	4	5
f. 休日・休暇数	1	2	3	4	5
g. 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5
h. 能力開発や自己啓発の機会	1	2	3	4	5

Q 16. 仕事の効率性や能力の発揮に対する自己評価を教えてください。

	高い	どちらかといえば高い	どちらかといえば低い	低い	
あなたの仕事の効率性を、同僚と比べてどう思いますか？	1	2	3	4	5
あなたは能力を充分、発揮できていると思いますか？	1	2	3	4	5

#### IV 働き方の改革に対する見解について伺います

Q 17. 仕事の効率性を高めるためには、何が必要だと思いますか？（該当すべてに○）

1. 人員数を増やす（業務量を減らす）
2. 組織間・従業員間の業務配分のムラをなくす
3. 残業手当が働いた分、支払われるようにする（取組りを強化し、サービズ残業を機減する）
4. 残業時間数に上限を設ける、割増賃金率を引き上げる
5. 残業させない上司が評価されるような仕組みを導入する
6. 労働時間の長さより（時間当たりの）成果で、評価される仕組みにする
7. 一定時間働いたら、必ず休息時間を設けなければならない制度を導入する
8. 有給休暇を取得させる下限を設定する
9. 年間の総実労働時間に上限を設ける
10. 短時間勤務制度やより柔軟なフレックスタイム制度等、働き方を多様化する
11. 営業時間を短縮する
12. 仕事中心の職場風土や社会慣行を見直す
13. その他（ ）

Q 18. 画一的な勤務形態・時間は長時間労働になりやすく、休暇の取得が進まないことから、正社員の働き方を多様化・柔軟化することで生産性を高めようとする考え方がありますが、どう考えますか？

1. 賛成（現状を変える必要がある）
2. どちらかといえば賛成
3. 何も言えない・分からない
4. どちらかといえば反対
5. 反対（現状のままで良い）

付問①. 次のような働き方が実現したら、あなたは希望しますか？

	ア. 朝型勤務 <sup>4</sup>	イ. 在宅勤務	ウ. 短時間正社員制度 <sup>5</sup>	エ. フレックスタイム制	オ. 労働時間貯蓄制度 <sup>6</sup>
1. 既に適用されている	1. 希望する	1. 希望する	1. 希望する	1. 希望する	1. 希望する
2. 既に適用されている	2. 希望する	2. 希望する	2. 希望する	2. 希望する	2. 希望しない
3. 希望しない	3. 希望しない	3. 希望しない	3. 希望しない	3. 希望しない	3. 分らない
4. 分らない	4. 分らない	4. 分らない	4. 分らない	4. 分らない	4. 分らない

付問②. 基本的に18時頃には退社できるようになったら、あなたは何をしたいですか？（該当すべてに○）

1. 心身の休養・リフレッシュ
2. 家族との団欒
3. 家事、育児
4. 自身の趣味
5. 買い物、ショッピング
11. その他（ ）
6. 社会人大学院等への通学
7. 上記以外の自己啓発（英会話等）
8. 同僚や友人との外食、懇親会
9. 職場等でのサークル活動
10. ボランティア活動

ご回答いただき、誠に有り難ございました。

添付の返信用封筒（切手不要）へ入れ、2015年2月6日（金）までにポストにご投函ください。

4 始業時刻を8時等の朝型にシフトさせ、17~18時頃には必ず退社できるような勤務形態。  
5 育児・介護といった理由（法定されているもの）に依らず、例えば自己啓発等を理由に短時間勤務ができる制度や、ライフステージに応じてフルタイム勤務⇄パートタイム勤務が自由に選択できる制度等。  
6 ドイツで導入されているような、残業時間等を貯蓄しておくき、休暇等の目的で好きな時にこれを使えるという仕組み。